



蛇のようにしなやかに、成長と進化の一年に。スタッフ一同

連携だより

地域医療機能推進機構 群馬中央病院

JCHO Japan Community Health care Organization

新年のごあいさつ



群馬中央病院の理念
4つの心

人権尊重の心 | 人間愛の心 | 奉仕の心 | 向上心

群馬中央病院の基本方針

人権の尊重と人間愛を基本とした医療・介護を行い、地域の方々の健康と福祉の増進に寄与する。

地域医療・地域包括ケア・介護の連携の要として、超高齢化社会における多様なニーズに応え、安全・安心・信頼を要とした医療と介護を提供する。

地域の医療・福祉機関との連携を密にし、地域医療における中核病院としての使命と役割を担う。

透明性が高く自立的な運営のもと、常に医療・介護水準の向上に努める。

新年のご



院長 兼地域医療連携センター長 内藤 浩

明けましておめでとうございます。

「連携だより 新年号」をお届けさせていただきます。

今年は、団塊の世代が後期高齢者になる、いわゆる「2025年問題」元年。これから本格的な超高齢化社会が到来いたします。

当院は、この、「2025年問題」に備えるための準備を、以前より進めて参りました。2002年に地域医療連携センターを開設して以来、登録医の先生方とともに地域全体の医療のニーズを分析しつつ、必要な機能を整備して参りました。専門的医療の充実は当然ですが、それに加え「介護老人保健施設」、「地域包括ケア病棟」、「地域包括支援センター」など、多くの施設を作り、また、感染症や医療安全、認知症、糖尿病など、多くの分野で専門的なトレーニングを受けた看護師を養成して参りました。

この専門的知識技術を持った看護師は、介護施設や福祉施設、公民館や学校など、地域の様々な場で、それぞれの専門分野を生かした講習や技術指導を実践し（無料派遣です）、高齢化社会での地域づくりに貢献しています。



副地域医療連携センター長 湯浅 和久

新年あけましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。また地域の皆さまには日頃より当院に多大なるご厚情を賜り心より御礼申し上げます。今年2025年は、団塊の世代が全て75歳以上の後期高齢者となる「2025年問題」として、以前より社会的、経済的に問題視されてきた年となります。超高齢化社会を迎え、医療費や介護費の増大、労働力不足、社会保障制度の持続可能性の確保などが課題とされてきましたが、コロナ禍を通じ前倒しで、それらの課題がより浮き彫りに、より切実な問題になったと感じます。当院としては、医療と介護のシームレスな連携が取れるよう地域連携の強化を図り、昨年からは紹介患者様をよりスムーズに対応するための内科診療センターを立ち上げました。今後も地域の皆さまからの病院へのニーズに応えられるよう、社会の変動にも注視しつつこれからも創意工夫に努めて参ります。本年も地域の皆さまに安心と良質な医療を提供し、皆さまに必要とされ、愛される病院として、この地に存在していきたいと願っておりますので、変わらずのご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

あいさつ



個人的なことで恐縮ですが、わたくしは昨年、当独法の東日本理事を拝命し、多くの県の病院を視察して参りました。その経験や群馬県の人口動態等を踏まえて、今後、群馬県の医療は、前橋に集約してくると考えています。これに対応するために、登録医の先生方はもとより、大学や他の地域医療支援病院とも連携する体制をととのえ、今後の難局を乗り越えらるとともに、次に言われている「2040年問題」にも備えて参りたいと思います。



医療を取り巻く環境は、経済面を含めて極めて厳しく、また、今後さらに厳しさを増していく様相ですが、登録医の皆さまと強く連携しながら、地域医療を守っていきたく存じます。

本年もよろしくお願い申し上げます。



地域医療連携センター長補佐

谷 賢実

2024年は診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス報酬の3つの制度が同時に改定される「トリプル改定」が施行され、対応に苦慮されたかたも多かったことと思います。これらは医療・介護サービスの質向上や効率化、超高齢社会に対応した持続可能な社会保障制度の構築を目指した改訂ですが、別の視点から見ると、現在の地域医療・介護連携の課題を浮き彫りにしています。

高齢化の進行に伴う患者像の変化や慢性疾患の増加が、地域医療に大きな負担をかけており、適切な医療・介護連携がなければ、患者さんの満足度は低下し、医療者も疲弊してしまいます。群馬中央病院では、これまで取り組んできた地域包括ケアシステムのさらなる強化を目指します。地域の医療、介護、生活支援を支えるみなさんと積極的に情報交換を行って多職種・多機関の連携を深化し、患者さんを中心に据えた切れ目のない医療を提供します。

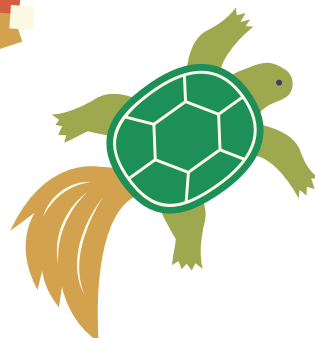
情報交換の手段は、医療DXとして国が推進している、マイナ保険証による診療情報や薬剤情報の共有や標準型電子カルテによるカルテ情報共有サービスの利用が、賛否両論はありますが将来的には主流になると思われます。一方で、みなさんと築いてきた「顔の見える連携」は群馬中央病院の宝です。顔を付き合わせ、膝を交えての情報交換、意見交換をこれまで以上におこなっていきます。これらの手段は共存して互いを補完するものだと考えています。

私たち群馬中央病院は、地域のみなさんとともに、持続可能で切れ目のない医療・介護体制を築くため、一步一步着実な歩みを進めていく所存です。多様なニーズに応えるため、医療・介護・行政が密接に連携し、地域住民が安心と信頼を寄せられる環境を整えてまいります。しかし、みなさんのご支援・ご協力なくして、これらの目標を達成することはできません。本年も群馬中央病院をよろしくお願いいたします。みなさんの2025年が素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



副地域医療連携センター長・患者支援室長

西田 久美



謹んで新春をお祝い申し上げます。

皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

高齢化や人口構成の変化に伴い、地域住民の抱える課題は年々複雑化・複合化しています。

その課題に対応するためには、医療と介護の連携が不可欠であり、昨年の診療報酬改定においても、医療・介護の連携推進のための取り組みが盛り込まれました。特に、地域包括ケア病棟を有する当院に求められる役割は重要であると考えます。協力医療機関を担うことはもとより、在宅療養支援を院内外多職種で検討するため、共同指導等退院前カンファレンスにWEBを活用するなど、皆様が参加しやすいよう、調整いたしますのでご要望をお申し出ください。

また、昨年度より「かんじゃ（がん）サロンこころ」再開の他、新たに「認知症サロン」も開催しております。今後も、地域に寄り添う身近な病院としての活動にも取り組んでまいります。

今年はいよいよ2025年です。次の2040年問題に向けて、更に地域の医療・介護従事者の皆様と連携し、「蛇蛭蝮翼」として地域包括ケアシステムを強化していければと考えております。本年も引き続きご支援・ご指導いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

患者支援室

田代 由香利

旧年中は大変お世話になりました。

ひとりひとりの患者さんが、住み慣れた地域でその人らしく生活が送れるように、地域の方々と連携していきたいと考えております。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



福田 朋子

あけましておめでとうございます。当院では一昨年に設置した「もの忘れタブレット」の活用や相談対応に続き、昨年は「認知症カフェ」の運営を開始いたしました。今年も認知症の早期発見や家族支援等皆様のお役に立てるような企画運営を検討しております。地域の要の病院として活動していければと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

地域医療連携室

鵜野 亜矢子

新年あけましておめでとうございます。

日頃より地域連携医療機関をはじめ、連携施設およびスタッフの皆様には、ご理解とご支援をいただき、厚く御礼を申し上げます。

地域医療連携室では、受け入れ依頼時のお返事をお待たせしないよう調整し、正確な情報を速やかに各部署へ伝えられるよう、日々努めております。

今年も皆様のお役にたてるよう、巳のように柔軟な対応ができるよう努力してまいりますので、引き続きご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

鵜野 亜矢子



根岸 晴美



今年もよろしく
お願いします

須賀 一夫

医療福祉相談室

武士 MSW

日頃より地域のみなさまには大変お世話になっております。
今年もよろしくお願いいたします。

林 MSW

日頃より大変お世話になっております。
本年もよろしくお願いいたします。

神岡 MSW

本年も患者様・ご家族様・関係機関の皆さまのお役に立てるよう精進してまいります。
よろしくお願い申し上げます。

神戸 MSW

日頃より地域の皆様方には大変お世話になりまして、心より感謝申し上げます。
本年も、患者様・ご家族様に日々安心して過ごしていただけるよう努めてまいります。今後ともお力添えを賜いますよう、よろしくお願いいたします。



福田 MSW

昨年の秋から育休復帰しました。
今年もよろしくお願いいたします。

もの忘れでお悩みですか？

当院ではどなたでも**無料**でできる
『もの忘れ相談プログラム』を導入しています。

画面にふれて簡単チェック！ご希望の方は入退院センターへお声がけください

簡単3ステップ 所要時間は5分～10分

1



ヘッドフォン
装着

2



質問に回答

3



結果レポート
印刷

どなたでもご利用いただき、ゲーム感覚でチェックできます。

この器具は、日本認知症予防学会理事、鳥取大学脳神経内科の浦上克哉先生と日本光電が協同開発したシステムで、タッチパネル式でだれでも容易に施行できる認知症スクリーニング検査です。学術的な裏付けも確立しており、鳥取県をはじめとして全国的に認知症検診に活用されていて、近隣では平成18年から20年まで高崎市(榛名地区)の認知症検診に利用された例もあります。

タッチパネル器具自体は当院の入退院センターに常設し、希望者にはだれでもオープンに操作してもらおう形にしています。検査終了後には結果レポートとパンフレットをお渡しします。



結果レポートに異常があった場合は、かかりつけの先生に相談することを推奨させていただきますので、そのような患者さんが受診した際には、神経内科へご紹介いただければ幸いです。

当院神経内科の初診は、予約制となっております。新規予約は地域医療連携室までご連絡ください。

もの忘れ相談プログラム

- テスト時間概ね5分
- カットオフ値は12点です。(15点満点中)
- 12点以下は認知症が疑われ感度96%、特異度97%と高い信頼性が示されています。
- 検査結果は専用の用紙にプリントアウトされ、検査後に被験者に手渡します。

『認知症患者で、かつご本人・ご家族がまだ認知症だと気づいていないような軽症ステージの認知症患者をきちんと見抜いて専門的医療に乗せる』ことを目的としております。**紹介状の文面は簡易でかまいません。**

よろしくお願いいたします。



フレイル・サルコペニア外来を 開設しました。

地域の高齢者診療を担う先生方へ

最近こんな高齢者でお困りではありませんか？

- なぜか年々体重が減ってきた。
- なんとなく疲れやすい／何をするのも面倒だ。
- 歩くスピードが遅くなってきた／歩くと息が切れる。
- ご飯を食べるのに時間がかかる／食欲自体がわからない。
- 身体を動かす機会が減った。

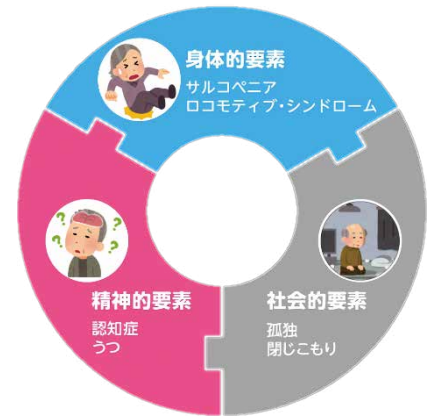


などなど

これらはフレイル・サルコペニアに由来している可能性があります。

2020年度から75歳以上を対象にした後期高齢者医療制度の健診でフレイル状態のチェックも行なわれるようになりました（フレイル健診）。質問表は15の項目で構成されています。また、より詳しくフレイルの状態を把握するため、25項目からなる「フレイル基本チェックリスト」も公開されています。

こういった質問表に該当する高齢者へ対応するため、**群馬中央病院では2024年12月から「フレイル・サルコペニア外来」を開始しました。**



フレイル健診の15の質問表、ないしはフレイル基本チェックリストの25の質問表に該当する高齢者、ないしこれに該当せずともなにかしらで心身の衰えが見られる高齢者であれば、当院の専門チームにより対応させていただきます。

ここでは特定の疾患名にとらわれずに診療いたします。先生方から病診連携室を通じて紹介状をいただければ予約が可能です。どうぞお気軽にご相談ください。



| 診療科・曜日 | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | |
|-------------|------------|---|---|--|---------------------------------------|---|---------------------------------------|
| 内科 | 総合内科(初診) | 午前 | 齋藤 勇一郎 | 阿久澤 暢洋・小保方 優 | 阿久澤 暢洋 | 平山 結佳子 | 阿久澤 暢洋・佐藤 浩子 |
| | 一般(予約) | 午前 | | | 今井 邦彦・田嶋 久美子 | 今井 邦彦・田嶋 久美子 | 長谷川 典子 |
| | | 午後 | 今井 邦彦・田嶋 久美子 | 北原 陽之助 | 今井 邦彦 | | 田嶋 久美子 |
| | 循環器内科(予約) | 午前 | 羽鳥 貴・吉田 尊 須賀 俊博(1・3・5週) 須賀 俊博(糖尿病2・4週) 田村 駿太郎(不整脈2・4週) | 羽鳥 貴 田部井 亮太 (下肢動脈硬化) | 吉田 尊 | 須賀 俊博 | 田部井 亮太 (下肢動脈硬化)(紹介) |
| 呼吸器科(予約) | 午後 | 山口 公一 | 武藤 壮平 | 解良 恭一 | 小池 陽子 | 蜂巣 克昌 | |
| 神経内科(予約) | 午前 | 大沢 天使 | | | 椎名 葵 | 大沢 天使 | |
| | 午後 | 金子 由夏 | | 大沢 天使 | 椎名 葵 | | |
| 消化器内科 | 初診 | 午前 | 堀内 克彦 | 田原 博貴 | | 湯浅 和久 | |
| | 予約 | 午前 | 清水 雄大(胆・膵) | 小川 綾 | 堀内 克彦・小川 綾 | | 湯浅 和久 堀内 克彦(1・3・5週) 田原 博貴(2・4週) |
| | | 午後 | 岡村 亜弓 | | 田原 博貴 | 岡村 亜弓 | |
| 糖尿病センター(予約) | 午前 | 根岸 真由美 須賀 俊博(2・4週) | 根岸 真由美・有山 泰代 | 中島 康代 | 中島 康代 | 根岸 真由美・登丸 琢也 | |
| | 午後 | | 中島 康代 フットケア | | 根岸 真由美 | | |
| 小児科 | 一般 | 午前 | 河野 美幸・澤浦 法子 | 田代 雅彦・須永 康夫 平形 絢子(専門) | 田代 雅彦・水野 隆久 | 田代 雅彦・須永 康夫 | 田代 雅彦 |
| | 心臓(予約) | 午後 | | | 田代 雅彦(1・3・5週) 小林 富男(2・4週) | 田代 雅彦(循環器) | |
| | 神経発達(予約) | 午前 | 須永 康夫 | | | 須永 康夫 | |
| | | 午後 | 須永 康夫・橋本 真理 | 須永 康夫 | 須永 康夫 | 須永 康夫 | 春日 夏那子・澤浦 法子 |
| | アレルギー(予約) | 午前 | | | | | 水野 隆久 |
| | | 午後 | 水野 隆久 | | | 水野 隆久 | 水野 隆久 |
| | 腎臓(予約) | 午後 | 田畑 洋太(2・4週) 平形 絢子(1・3・5週) | | 武井 麻里子 | 山崎 陽子 | 武井 麻里子 |
| | 発達フォロー(予約) | 午前 | | 河野 美幸 | 河野 美幸 | 江田 陽一(専門) | |
| 乳児健診(予約) | 午後 | | 江田 陽一・中澤 優之介 | | | | |
| 予防注射(予約) | 午後 | | | 野中 澁久・桑原 幸佑 | | | |
| 外科 | 一般・消化器 | 午前 | 内藤 浩・深澤 孝晴 高橋 宏一 | 福地 稔・谷 賢実 木暮 憲道・ 調 憲(肝・胆・膵)【紹介】 高張 大亮(痔瘻法)(1・3・5週) 山口 玲 (脳神経外科14:00～) 久保 憲生(肝・胆・膵) | 福地 稔・原 圭吾 喜連 佑子・ 阿部 知伸(心臓血管外科) | 内藤 浩・深澤 孝晴 高橋 宏一・ 五十嵐 隆通(肝・胆・膵) | 深澤 孝晴・木暮 憲道 原 圭吾・喜連 佑子 |
| | | 午後(予約) | | | | 大瀧 容一(呼吸器外科) 長嶋 起久雄(緩和ケア外科) | |
| | 乳腺・甲状腺(紹介) | 午前 | | | | 尾林 紗弥香 | |
| | 午後 | 荻野 美里 (14:00～17:00) | | | | | |
| 整形外科 | 午前 | 寺内 正紀(膝) 堤 智史(脊椎) 中島 飛志(脊椎) 野仲 聡志(膝) | 寺内 正紀(膝) 堤 智史(脊椎) 畑山 和久(膝) 中島 飛志(脊椎) | 畑山 和久(膝) 野仲 聡志(膝) 島田 剛志(一般) | 堤 智史(脊椎) 中島 飛志(脊椎) 島田 剛志(一般) | 寺内 正紀(膝) 畑山 和久(膝) 野仲 聡志(膝) 島田 剛志(一般) | |
| | 午後(予約) | | | | | 畑山 和久(膝) (1・3週金曜) | |
| 産婦人科 | 一般 | 午前 | 伊藤 理廣・金井 真理 長谷川 祐子 | 北原 慈和・伊藤 理廣 (8:30～10:00) | 太田 克人・伊藤 理廣 (10:00～12:00) 村上 麻耶 | 太田 克人・亀田 高志 塚田 睿子 | 伊藤 理廣・安部 和子 |
| | 妊婦健診 | 午後(予約) | 太田 克人(検査) | 金井 真理 | 太田 克人 村上 麻耶(産後) | 伊藤 理廣(手術組) | 太田 克人(検査) 安部 和子 |
| 午前 | | 村上 麻耶 | 安部 和子 | 亀田 高志 | 伊藤 理廣(妊婦のみ) | 長谷川 祐子 | |
| | 午後(予約) | 塚田 睿子 | | 亀田 高志 | 篠崎 博光(ハイリスク) | | |
| 眼科 | 午前 | 前嶋 京子 | 前嶋 京子 | 前嶋 京子 | 前嶋 京子 | 前嶋 京子 | |
| 耳鼻咽喉科(予約) | 午前 | 工藤 毅・内山 通宏 | 工藤 毅・内山 通宏 | 内山 通宏 | 工藤 毅(紹介) 内山 通宏(紹介) | 工藤 毅・内山 通宏 | |
| | 午後 | 検査 | 工藤 毅(嚥下) 内山 通宏(嚥下) 竹越 哲男 | 塚田 晴代 検査 | 茂木 雅臣(1・3・5週) 富所 雄一(2・4週) | 工藤 毅(嚥下) 内山 通宏(嚥下) | |
| 皮膚科 | 午前 | 龍崎 圭一郎 | 龍崎 圭一郎 | 龍崎 圭一郎 | 龍崎 圭一郎 | 龍崎 圭一郎 | |
| | 午後(予約) | | | | 龍崎 圭一郎 | | |
| 歯科(予約) | 午前・午後 | 平林 晋 | 平林 晋 | 平林 晋 | 平林 晋 | 平林 晋 | |

【ご案内】①医療機関等からの紹介状をお持ちの方は、できるだけ事前に予約して頂くをお願いします。(平日 8:30～18:00) ※詳細についてはホームページをご確認ください。

連携室直通電話：027-223-1373 FAX：027-223-1374

②一部の診療科については予約制、紹介型外来等を行っております。

◎予約制外来……終日予約(神経内科、耳鼻咽喉科、歯科、禁煙外来)

◎紹介型外来……乳腺・甲状腺(月曜日の午後・木曜日の午前)、耳鼻咽喉科(木曜日の午前)

③その他

・消化器内科は、水曜日と金曜日は予約外来のみとなっております。

・整形外科は、月曜日と金曜日の初診受付については、紹介状持参患者のみとなっております。

・総合内科は、初診・紹介状持参患者のみとなっております。

診察・検査の予約お問い合わせは地域医療連携室へ

受付時間 8:30～18:00
土・日・祝日は除く
TEL 027-223-1373 [直通]
FAX 027-223-1374 [直通]

独立行政法人 地域医療機能推進機構



群馬中央病院

〒371-0025 前橋市紅雲町1丁目7番地13号 TEL 027-221-8165 FAX 027-224-1415
ホームページ <http://gunma.jcho.go.jp/> フェイスブック <https://www.facebook.com/gunmatyoubuyouin/>

